

買い物応援ネットワーク会議について（概要）

1 趣 旨

地域協働による買い物支援の推進に向けて、地域住民と事業者や団体をつなぐ仕組みづくりを進めるため、市内で買い物支援に取り組む事業者や地域住民代表、福祉関係者、関係団体、行政等が広く参加する会議を開催し、活動事例の発表や意見交換、活動内容や実物の展示、参加者の交流を行うもの。

2 内 容（平成25～26年度）

（1）準備会（買い物支援に関する意見交換会）〔平成25年11月〕

① 日 時 平成25年11月21日（木） 14：00～15：50

② 場 所 総合保健福祉センター 2階 講堂

③ 参加者 全102名（51団体+行政）

・ 買い物支援に取り組む民間事業者等	13団体	20名
・ 買い物支援に取り組む地域団体代表	10団体	20名
（※ 校区别ワークショップ モデル地域を含む）		
・ いのちをつなぐネットワーク協力会員等	22団体	25名
・ その他民間企業、団体	6団体	9名
・ 行政等		28名

④ 主な内容

◇ 事例発表（7団体）

- ・ オアシスマーケット （民間・移動販売）
- ・ 生鮮とれたて便 （民間・移動販売）
- ・ グリーンコープ・元気カー （民間・移動販売）
- ・ セブンイレブン・お届けサービス（民間・宅配）
- ・ 小倉北区 今町校区社会福祉協議会・今町旬彩朝市 （地域・朝市）
- ・ 小倉南区 葛原校区社会福祉協議会・わいわい市場葛原（地域・朝市）
- ・ 八幡西区 楠橋北自治区会・買い物バス『フレンド号』、ふれあい朝市（地域・移動支援、朝市）

◇ 意見交換

(2) 第一回会議〔平成26年2月〕

① 日時 平成26年2月27日(木) 10:00~12:00

② 場所 西日本総合展示場 新館 C展示場

③ 参加者 全149名(81団体+行政)

・ 買い物支援に取り組む民間事業者等	7団体	13名
・ 買い物支援に取り組む地域団体代表	15団体	28名
(※校區別ワークショップ モデル地区を含む)		
・ いのちをつなぐネットワーク協力会員等	12団体	16名
・ 保健福祉関係者(介護・障害)	34団体	39名
・ その他民間企業、団体、地域	13団体	14名
・ 行政等		39名

④ 内容

◇ 事例発表(3団体)

- ・ 若松中央商店街 出張商店街 (民間・移動販売)
- ・ エフコープ生協 買い物不便エリアマップの作成、宅配 (民間・宅配等)
- ・ 八幡西区 茶屋の原団地自治会 ふれあい朝市 (地域・朝市)

◇ 意見交換

◇ 取り組み等の展示(8団体)

- ・ 今町旬彩朝市(小倉北区)【今町校区社会福祉協議会】
- ・ まちづくりコーディネーター【コミュニティシンクタンク北九州】
- ・ 個別配達【エフコープ生活協同組合】
- ・ 移動販売【グリーンコープ生活協同組合ふくおか】
- ・ お食事お届けサービス【(株)セブンイレブンジャパン】
- ・ 移動販売【(株)ローソン】
- ・ 買い物支援専用車両【(株)Heat Wave】
- ・ 超小型モビリティ【特定非営利活動法人 タウンモビルネットワーク】



(3) 第二回会議〔平成26年11月〕

① 日時 平成26年11月9日(日) 10:15～11:30

② 場所 西日本総合展示場 新館

- ・ 「第16回西日本国際福祉機器展」の会場で開催
- ・ 「第4回健康フェア」(平成26年11月9日(日))と同時開催
- ・ 「健康・生活産業振興協議会」(市産業経済局)と合同発表

③ 参加者 70名

〔参考〕西日本国際福祉機器展 入場者数

11月7日(金) 8,953人

11月8日(土) 8,451人

11月9日(日) 9,002人

合計 26,406人

④ 内容

◇ 事例発表(3団体)

- ・ (株)サンキュードラッグ (民間・新規開店)
- ・ 門司区 清見校区社会福祉協議会 ふれあい朝市 (地域・朝市)
- ・ 高野みどりの里・デイサービス高野 (民間・移動販売)

◇ 意見交換

◇ 取り組み等の展示(6団体)

- ・ 移動販売車両等 【(株)セブンイレブンジャパン】
- ・ 買い物支援専用車両 【(株)Heat Wave】
- ・ 移動販売車両 【グリーンコープ生活協同組合ふくおか】
- ・ ネットスーパー 【(株)サンリブ】
- ・ 移動販売等 【(株)ローソン】
- ・ まちづくりコーディネーター 【コミュニティシンクタンク北九州】

※ いずれも「西日本国際福祉機器展」内にて3日間出展

【事例発表】



【参考】買い物支援に関する主な意見

(買い物支援に関する意見交換会、買い物応援ネットワーク会議より)

1 民間事業者

- 経営は厳しいが、回覧板でのPRなど、地域の応援が大変有難い。
- 宅配サービスを通して、高齢者の見守りや支援につながった。
- 移動販売が高齢者のコミュニケーションの場になっている。
- 商売である以上、利益があがらないと、続けていくことは難しい。
- 移動販売の場所として、公共施設の駐車場を活用できないか。
- 私たちのサービスを、もっと地域の方に知ってほしい。
- ネット販売だけでなく、高齢者とのコミュニケーションに参加したい。

2 地域住民・各団体

- 高齢者が外出するきっかけになり、住民同士の交流が深まった。
- 地域活動のノウハウを、他の地域にも伝えたい。
- 活動を長く続けていくには、担い手の養成など、住民の協力が必要。
- 買い物支援について、住民の自助、互助だけでは限界もある。
- いろいろな団体を含めて、地域が一枚岩になるには時間がかかる。
- 事業者の方も、まず地域と話し合いをして計画をつくと良いのではないか。
- 大学生と商店街で認知症の人の買い物体験に取り組み、とても喜ばれた。
- 買い物支援の取り組みをPRするノボリを作ってほしい。

3 参加者アンケート

- 多くの団体や自治会が、買い物支援に取り組んでいることを知って感動した。
- 買い物支援の必要な地域が想像以上に多いことを知った。
- 今は買い物の困難な地域ではないが、10年先を考え、地域で検討したい。
- 行政には、事業者と地域を「つなぐ」仕組みを検討してほしい。
- こうした情報を地域に発信することも検討してほしい。
- 買い物支援を続けていくことの難しさを知ることができた。
- 買い物支援は、どの方法にしても、場所の確保が重要である。
- ボランティアだけでは長続きしない。継続のためには行政の支援も必要。

(取組み結果について・まとめ)

- ◇ ネットワーク会議の開催を通じて、地域活動の担い手や民間サービスの事業者など、多様な主体から多くの事例や意見・提案が寄せられた。
- ◇ また、活動内容の展示・交流の場を合わせて設けることにより、「地域住民と事業者」「事業者と事業者」「地域と地域」など、多様な交流の機会を持つことができた。
- ◇ 主な意見・提案として、民間事業者からは
 - ◆ 宅配サービスを通して、高齢者の見守りや支援につながった。
 - ◆ 地域住民との関係づくりや、場所の確保に苦労がある。
 - ◆ 商売である以上、利益があがらないと、続けていくことは難しい。
 - ◆ 私たちのサービスを、もっと地域の方に知ってほしい。などの意見があり、地域住民や出席団体からは
 - ◆ 朝市を通して高齢者が外出するきっかけになり、交流が深まった。
 - ◆ 地域活動のノウハウを、他の地域にも伝えたい。
 - ◆ 買い物支援について、住民の自助、互助だけでは限界もある。
 - ◆ 活動の担い手も高齢化しており、次の担い手の確保が課題である。
 - ◆ 事業者の方も、まず地域と話し合いをして計画をつくると良い。などの意見が寄せられた。
- ◇ ネットワーク会議の情報をもとに、地域での朝市を他の地域が見学に出向き、ノウハウを吸収して自ら活動の検討を行うなどの動きも見られる。
- ◇ ネットワーク会議に参加できる人は限られており、今後はより地域に密着した情報発信の工夫が必要である。